

## 経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

## ① 目指す姿と数値目標

経営理念

産業デベロッパーとして、社会の付加価値の創出に貢献

営業収益

2兆7,000億円

営業利益

3,800億円

事業利益

4,250億円

親会社株主帰属純利益

2,600億円

## ② 中長期の経営戦略

## 1. コア事業の更なる成長

既存事業およびその周辺領域での成長を進め、市場における競争力強化

## 3. 新事業領域の探索

不動産領域を超えた新事業領域での探索と事業機会獲得を実現

## 2. 新アセットクラス展開

不動産領域における新たなアセットクラスへ展開し、ポートフォリオ多様化

## 4. 両利きの経営実践

既存事業の深堀と新事業領域の開拓を同時推進し、持続的成長を達成

## ③ 対処すべき課題

## ① 世界経済の不透明性

- ・ 米国の通商政策や地政学的リスクへの対応
- ・ 世界経済のブロック化や景気後退懸念への耐性強化
- ・ 安全保障リスクの高まりへの柔軟な対応力獲得

## ② 国内事業環境の課題

- ・ 建築費の高騰と人手不足への対策
- ・ 金利上昇による採算性への影響対応

## ③ 市場からのデカップリング

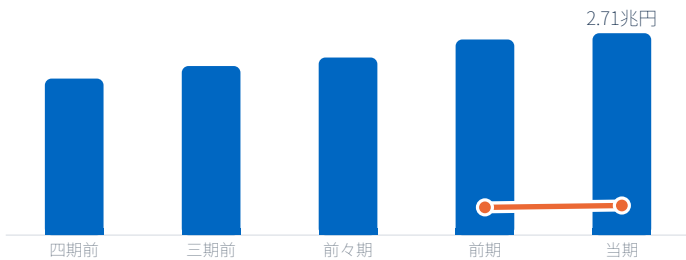
- ・ 事業環境変化への耐性強化とビジネス安定性向上

## 面接で使えるポイント

- ・ 2030年度に向けた経営方針「& INNOVATION 2030」で、社会的価値と経済的価値の車の両輪を実現する点
- ・ 不動産領域にとどまらず新事業領域を開拓する両利きの経営で、グループの持続的成長を目指す方向性
- ・ 2026年3月期に営業収益2兆7,000億円を目指す中で、市場からのデカップリングを通じた事業環境への適応力

証券コード 8801

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高  
2.71兆円営業利益率  
14.7%財務健康度  
43点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 65.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収  
1,856万円

不動産業内 2位/130社

平均年齢  
42.1歳

不動産業内 37位/131社

平均勤続  
16.0年

不動産業内 3位/131社

女性管理職  
11.1%

不動産業内 43位/76社

男性育休  
103.2%

不動産業内 4位/57社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: プレインパッドおよびBrainPad AAA、三井不動産との

